

授業科目名 (英文名)	上級リーディング (Advanced Reading)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	2年次・前期
担当教員	大田垣 裕子	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	本講義は様々なトピックに関する英文を問題意識を持って読み、自分の意見を論理的に伝えることを目的とする。到達目標は(1)パラグラフの構成を理解し、(2)文章全体の要点や詳細な情報を読み取るスキルを身につけ、(3)各トピックに関する理解や論理的な表現に必要な語彙、文法等を使い、(4)クラス内でのディスカッション等を通して得た多面的な考えをわかりやすく伝えられるようになることである。		
講義内容・授業計画	<p>クラスでは多岐にわたるテーマの文章を読み、英文読解力と情報や自分の考えを伝えるために必要な表現力を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . Introduction and Music Hath Charms to Soothe a Savage Miso 2 . In the Kitchen Cultural Clashes in Britain 3 . Kaleidoscope of the Heart 4 . When RED Means Stop 5 . Is Modern Art Really Art? 6 . Lessons from a Late-Edo Intellectual on Intercultural Relations 7 . Study: Green Space Around Schools May Boost Mental Abilities 8 . Circus Antics Bring Jews, Arabs Closer 9 . The Noh Plays of Japan and Language: Like, Yikes! 10 . The Christmas Warrior 11 . I Am a Cat 12 . Can We Use Waste for Energy? 13 . Dying Professor 's " Last Lecture " 14 . The Last Part of " Last Lecture " 15 . Review and Achievement Test 		
テキスト	Richard Carpenter et all, Delightful Topics for Reading and Writing, Shohakusha (生協で購入する)		
参考文献	Longman Online Dictionary, Oxford Learner's Dictionaries その他、授業時に適宜紹介する。		
成績評価の基準・方法	<p>成績の基準 様々なトピックについての英文を理解し、それについての自分の意見を論理的にわかりやすく英語で伝えることができる者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力(知識・技能、思考力、表現力等)の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 到達度テスト50%を基準として、平常点(課題30%、授業参加状況20%)を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>出席日数が開講日数の3分の2に満たない場合は、原則、単位を修得できない。「講義内容・授業計画」に記載した次回授業で扱う範囲の英文を読み、知らない単語等の意味と音を確認しておくこと。また、復習して学んだことを定着させること。</p> <p>当授業は、対面での実施を基本としますが、新型コロナウイルス感染症対策として、自宅でのオンライン授業を実施する場合があります。自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。感染拡大等により授業方法が変更になる際は事前に連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない		
備考			